

第5回 富山環境プロジェクトフォーラム

立山連峰が蓄える水、富山湾が抱く海洋水。富山を語る上で欠かせない「水」は多様な姿で、豊かな富山の営みを育んできました。「水資源=ブルーゴールド」とも称される水を大学の研究成果と人的資源を活かしかに守り育み、活用し、真の意味で地域を潤すか。官学のコラボレーションで、明日の政策を考えます。

富山 富水 富心

多様な水が豊かな心を育む

官の立場から：「最近の環境政策と、その方向」中井徳太郎[環境省総合環境政策局総務課長]

学の立場から：「温故知新(時間軸からみる地球環境と富山)」堀川恵司[富山大学]

地方行政の立場から：パネルディスカッション「地域が求める富山大学」

パネリスト：森 雅志[富山市長] 澤崎義敬[魚津市長] 夏野 修[砺波市長]

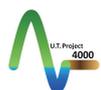
中井徳太郎[環境省総合環境政策局総務課長] 張 勁[富山大学] 上田 晃[富山大学] 加賀谷重浩[富山大学]

コーディネーター：金岡省吾[富山大学]

2013年1月16日(水)14:00(開場13:30)

富山大学 学生会館ホール(五福キャンパス) [入場無料] 定員200名

申込・問合せ：富山環境プロジェクトフォーラム事務局(株式会社 PCO 内) 〒939-8063 富山市小杉120 TEL076-428-9166 E-mail:sci@pcojapan.jp



富山大学『高低差4,000m富山環境』プロジェクト
代表世話人：張 勁[富山大学大学院理工学研究所 教授]

第5回 富山環境プロジェクトフォーラム

富山大学では「高低差4,000m富山環境プロジェクト」を推進しています。標高3,000mの立山連峰から水深1,000mの富山湾までをコアフィールドに、「地球環境の縮図モデル」と捉え、環境動態・生態系応答・環境修復の研究を展開するものです。今回のフォーラムでは、重要な地域資源である「水」に着目し、持続可能な利用について、官と学のコラボレーションを深め、具体的な行動に結びつける契機とします。

講師・パネリストプロフィール

中井徳太郎

環境省総合環境政策局総務課長

「最近の環境政策と、その方向」

「地球温暖化の危機」「資源浪費による危機」「生態系の危機」といった人類文明の基盤を揺るがす問題へと進化した環境問題。人間活動の多様化・複雑化により、環境行政の分野と政策手法も広がりを見せ、東日本大震災も踏まえ、直面する環境政策の課題を展望する。【プロフィール】東京大学法学部卒、1985年大蔵省入省、1997年大蔵省主計局主査、1999～2002年富山県出向（生活環境部長）、2003年財務省広報室長、2005年東京大学教授、2010年財務省主計官（農林水産係）、2011年より環境省。

堀川恵司

富山大学大学院理工学研究部 助教

「温故知新（時間軸からみる地球環境と富山）」

IPCC2007の将来気候予測によると、21世紀後半の地球の平均気温は現在と比べ2～5度程度上昇すると予測されている。温暖化に対する防災や危機管理対策の立案には、将来予測が必要不可欠であり、その重要なヒントが地球環境の変遷や過去の温暖化時の気候状態の詳細な把握。過去から見える未来について考える。【プロフィール】専門分野は古環境学、環境動態解析学。2006年北海道大学大学院地球環境科学研究科博士課程修了。博士（地球環境科学）。2010年より現職。

森 雅志

富山市長

環境未来都市である富山市は、地下水熱の利活用を見出すプロジェクトを推進しています。また、全国有数の包蔵水力を活かした小水力発電所の整備など、環境負荷の低減に努め、市民への普及啓発も行っています。水道水「とやまの水」は、2012年度モンドセレクション金賞を受賞。観光客やコンベンション参加者にも広くPRするなど、豊かな水資源を最大限に活用しています。

澤崎義敬

魚津市長

急峻な地形で知られる魚津は、豊富で良質な水によって産業や市民の生活が支えられています。コンパクトな地域で水の循環が完結している魚津の地形は世界的にも極めて希で、この貴重な状態を「魚津の水循環」と名付け、市の総合計画に盛り込んでいます。「守り×育み×活用する環境」＝「環境保護と活用の両立」として、新たな価値の創造を目指しています。

夏野 修

砺波市長

砺波市は散居の里であると同時に、砺波平野を縦横に走るかんがい用水の取水口を持つ水の郷でもあります。豊かな水は、古来から水稲農業を発展させ、またチューリップ栽培にも大きく寄与しています。清流「庄川」の良質な伏流水は、複数の立地企業が工業用水として活用するなど、地域の多くの産業・経済を支え、固有の地域文化を形成しました。世界的にも稀な富山県の良質な水環境は、砺波の礎を築いています。

張 勁

富山大学大学院理工学研究部 教授

研究テーマは、水の起源や水循環。海底湧水など陸から縁辺海洋への物質循環のメカニズム解明。水の伝道師を自認。92年東京大学大学院理学系研究科修士、95年同博士課程修了、博士（理学）。放射線医学総合研究所特別研究員を経て、98年富山大学勤務、2008年より現職。国際GEOTRACES研究計画運営委員会委員。日本学術会議専門委員。

上田 晃

富山大学大学院理工学研究部 教授

平成22年10月より、環境化学計測分野の1つの研究グループとして活動を開始し、富山県内の地熱資源の利用可能性やその利用方法を検討しています。地下水や地熱流体の流動様式や水質を調査し、地熱発電、温泉発電、地下水を用いたヒートポンプ利用による室内冷暖房、無散水道路消雪への応用を研究しています。

加賀谷重浩

富山大学大学院理工学研究部 教授

元素分離材・分離技術を開発し、環境分析、水処理に応用する研究に従事。1991年金沢大学教育学部卒業。95年同大学大学院自然科学研究科博士後期課程退学。博士（理学）。富山大学廃液処理施設（現水質保全センター）助手、同大学工学部准教授、メルボルン大学化学科客員研究員などを経て2012年より現職。

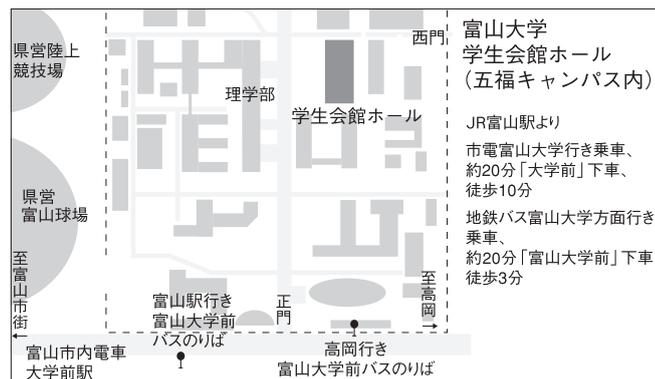
金岡省吾

富山大学地域連携推進機構 教授

千葉大学大学院ではランドスケープ、都市銀行シンクタンクでは地域政策、室蘭工業大学大学院博士課程ではランドスケープとマーケティングの融合研究に従事。現在、環境と経済の両立による地域づくりの実践を目指した地域再生塾を産学官金連携にて展開中。成果は「地域再生論」「地域システム特論」として大学教育に還元。

スケジュール

- 14:00 挨拶
石井隆一 富山県知事
- 14:10 官の立場から「最近の環境政策と、その方向」
講師：中井徳太郎
- 14:30 学の立場から「温故知新（時間軸からみる地球環境と富山）」
講師：堀川恵司
- 15:00 休憩
- 15:10 地方行政の立場から
パネルディスカッション「地域が求める富山大学」
コーディネーター：金岡省吾
- 16:35 閉会挨拶
遠藤俊郎 富山大学長



参加申込 会場準備の都合から、事前申し込みにご協力ください。お申込みの際は、申込み欄に記入し、FAX076-428-9156までお送りください。申込・問合せ：富山環境プロジェクトフォーラム事務局（株式会社PCO内）〒939-8063 富山市小杉120 TEL076-428-9166 E-mail:sci@pcojapan.jp

[リサイクル適正A]

第5回 富山環境プロジェクトフォーラム 参加申込書

FAX.076-428-9156

E-mail:sci@pcojapan.jp

1月11日（金）までにファックスまたはメールをお送りください

フリガナ	
氏名	
所属	
連絡先 電話番号	

※ご記入いただいた個人情報は、このフォーラム開催のみに使用し、その他の目的には使用いたしません。